東洋大学　「建築生産設計」に関する特別講義アンケートから抜粋

| |
|---|
| 生産設計者はアーキテクトとエンジニアの両方を兼ね備えていると感じた。 |
| 施工図は、専門工事会社などの施工する側の会社が描くものだと思っていた。 |
| 縁の下の力持ち的な役割のように感じた。 |
| 社会インフラを支え、人々の生活の質を向上させるうえで、幅広い建築の知識を必要とする仕事だと思います。 |
| 施工の仕事は、意匠のことは全く携わらないのかと思っていましたが、そんなことはないと知りました。 |
| 普段知っている図面と較べて情報量が全く違っていて、とても細かく描かれていて驚いた。 |
| 設計図だけで建物が建てられるわけではなく、施工図が必要だと知った。 |
| 生産設計は、設計のことも施工のことも分かっていないとできない仕事だと感じた。 |
| 生産設計の仕事は責任が重大で怖いなと感じた。 |
| 設計と施工で食い違いが起こった時に中立の立場で調整していると感じた。 |
| 生産設計者は、設計図が施工するうえで問題ないのか確認して、修正している。そのために設計図をきちんと読み解いていると感じた。 |
| 設計における最後の仕上げの部分を行っていると思った。 |
| 意匠設計でも施工図が描きやすいように情報量を増やしたり、細かく描いたりするべきだと思いました。 |
| 施工図がないと建物が建てられないということを学びました。 |
| コストに直結する大切な仕事であることが分かった。 |
| コンクリート躯体や階段・柱などの詳細は構造設計図で、便所などの詳細は設備設計図で行うものと考えていた。 |
| 生産設計は単なる図面作成にとどまらず、施工性や経済性を考慮しながら設計と現場の橋渡しをする、重要なプロセスであることを理解した。 |
| 「設計」と「施工」の二つの軸でしか建築の工程を知らなかったが、「生産設計」という分野もあることを知ることができた。 |
| 生産設計は、単なる図面作成にとどまらず、建物全体の品質・コスト・工期を左右する非常に重要なポジションであるということが分かった。 |
| 生産設計があることで、品質管理やコスト管理が容易になることが分かった。 |